

【基本施策4】 区民が主体的に参画し、コミュニティ形成につながる地域スポーツ環境の整備

		所属名		スポーツ振興課	
事業No.	事業名				
25	【重点事業】 総合型地域スポーツクラブの設立				
事業概要	多世代・多種目・多志向の特徴をもった、地域住民による自主的、主体的に運営されるスポーツクラブを全地区設立する。				
計画目標	拡充	目標に対する評価	C:計画目標を一部達成した	コロナ影響	無
令和5年度実績	総合型地域スポーツクラブ「スポルテ目黒」と協議を行い、総合型地域スポーツクラブの運営に必要な支援等を確認した。				
評価の理由	区と「スポルテ目黒」の連携について協議したが、新たな総合型地域スポーツクラブの設立については、まだ十分に検討が必要である。				
課題など	総合型地域スポーツクラブの設立に当たっては、活動の場の確保、人材・スタッフの確保、設立に係る資金の確保等の課題がある。これらの課題の解決については、今後改めて検討を進めていく必要がある。				

所属名	スポーツ振興課
-----	---------

事業No.	事業名				
26	モデル事業に対する支援				
事業概要	スポルテ目黒の活動を区のモデル事業として、活動の場の提供、その他を通じてその活動を支援する。				
計画目標	継続	目標に対する評価	B:計画目標を達成した	コロナ影響	無
令和5年度実績	①日常活動の場の提供 碑文谷体育館・庭球場・野球場、南部地区プール、中央地区プール、 五本木小学校体育館、鷹番小学校体育館 ②クラブハウスの提供 ③HP活動支援、クラブ運営への助言指導 ④会員数の拡大 801人（令和6年3月31日現在） ⑤各体育館において、スポルテ目黒のチラシ、案内設置など、活動の支援を行った。				
評価の理由	碑文谷体育館をはじめとした場の提供及び実施する事業のチラシ配布などの活動支援等を継続して実施し、区民のスポーツ・レクリエーション活動に寄与した。				
課題など	スポルテ目黒を運営していくに当たり、次世代の人材確保が難しい状況の中、モデル事業の継続に向けた支援のあり方が課題である。				

所属名	生涯学習課
-----	-------

事業No.	事業名				
27	申請社会教育学級の実施				
事業概要	区内の社会教育関係団体が行う自主的かつ系統的学習について、団体の申請に基づき、申請社会教育学級に指導者を派遣し、団体が行う社会教育活動の発展を図る。結成後5年未満の団体と教育委員会が定める課題について学習する団体の学習計画に基づき、1学級について6回を限度として指導者を派遣する。				
計画目標	継続	目標に対する評価	C:計画目標を一部達成した	コロナ影響	無
令和5年度実績	結成後5年未満の団体5団体(延べ参加者1,139人)に指導者を派遣した。(うちスポーツ団体は0団体)				
評価の理由	参加人数は増加したが、団体数は減少傾向にある。				
課題など	社会教育関係団体登録制度が廃止となることから、対象団体等の見直し等が必要となっている。				

所属名	生涯学習課
-----	-------

事業No.	事業名				
28	社会教育館まつりの実施				
事業概要	団体の学習成果の発表の場、団体間の交流・親睦の場、地域との交流の場として実施する。利用団体が1年間の学習の成果を展示・発表する。				
計画目標	継続	目標に対する評価	B:計画目標を達成した	コロナ影響	無
令和5年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ 東山社会教育館(22団体参加。うちスポーツ団体は4団体) ・ 中央町社会教育館 (20団体参加。うちスポーツ団体は4団体) ・ 目黒本町社会教育館 (21団体参加。うちスポーツ団体は4団体) ・ 緑が丘文化会館(14団体参加。うちスポーツ団体は3団体) ・ 青少年プラザ(17団体参加。うちスポーツ団体は7団体) 				
評価の理由	<ul style="list-style-type: none"> ・ コロナ禍以前と同じように制限なく実施することができた。他所管の協力や新しい団体の参加もあり活気を取り戻しつつあった。参加者全体で協力しながら無事に実施できた。 ・ 普段の活動内容を発表する場として計画どおり実施できた。 ・ 事業参加をきっかけに区民が定期的に活動を続けることで、自身の健康維持や体力向上及び地域コミュニティづくりに貢献している。 				
課題など	<ul style="list-style-type: none"> ・ より多くの地域の住民や区全体への周知、来館者の増加 ・ 高齢化による団体構成員の減少 				

所属名	スポーツ振興課
-----	---------

事業No.	事業名			
29	[重点事業] 目黒シティラン～健康マラソン大会～の実施			
事業概要	「めぐろ桜健康マラソン」を発展・充実させることにより、区内の観光と産業の活性化など地域活力の向上を図るとともに、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた機運醸成と区民の健康増進を目的にマラソン大会を実施する。実施にあたり、関係団体等による組織委員会を設立し、企画・運営を行う。			
計画目標	新規	目標に対する評価		コロナ影響
令和5年度実績	休止			
評価の理由				
課題など				

所属名	スポーツ振興課
-----	---------

事業No.	事業名				
30	体育祭の充実				
事業概要	広く区民に総合的なスポーツの機会を提供するとともに健康維持増進及びスポーツを通じたコミュニティの形成に寄与することを目的に目黒区体育祭を実施する。				
計画目標	拡充	目標に対する評価	B:計画目標を達成した	コロナ影響	無
令和5年度実績	37競技大会を（春・秋・冬）開催し、広く区民のスポーツの推進と健康維持増進を図った。 <春季大会>・種目：31種 ・延べ日数：120日 ・参加者数：8,130人 <秋季・冬期大会>・種目：36種 ・延べ日数：104日 ・参加者数7,671人				
評価の理由	コロナ以前の規模に戻りつつある。				
課題など	体育協会との連携強化を図る。				

所属名	スポーツ振興課
-----	---------

事業No.	事業名				
31	実行委員会等、多様な区民や団体の主体的な関わりによるスポーツ事業の実施				
事業概要	スポーツ・レクリエーション事業（めぐろスポーツまつり、ウォーキング事業、ラジオ体操、スポーツ広場等）の実施にあたり、実行委員会等、多様な区民が参画できるよう配慮し、関係団体との連携・強化を図る。				
計画目標	拡充	目標に対する評価	B:計画目標を達成した	コロナ影響	無
令和5年度実績	①第21回めぐろスポーツまつり（延べ394名） ②ウォーキング事業：339名 ③ラジオ体操：70名 ④地区スポーツ大会:481名				
評価の理由	令和5年度も目黒区民を対象に、子どもから高齢者、障害のある方まで誰もが参加できるめぐろスポーツまつりを実施した。当日は天候が悪く、室内のみでの実施となったが体力テストやミニバレーの他、写真展示等も行い、競技の魅力を伝え、楽しめるイベントとなった。				
課題など	実行委員会等に多様な区民が参画できるよう、引き続き工夫をしながら、関係団体との連携・強化を図りつつ、充実したスポーツ・レクリエーション事業を実施する必要がある。				

所属名

スポーツ振興課

事業No.	事業名				
32	スポーツ・レクリエーション活動における指導者の発掘・育成				
事業概要	<p>区民のスポーツ・レクリエーション活動をより効果的・円滑に推進するために、指導者育成事業を実施する。</p> <p>①スポーツ指導者育成事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ推進委員研修会 ・指導者養成講習会（スポーツセミナー） ・障がい者スポーツ指導員養成研修 （公益財団法人日本障がい者スポーツ協会公認） ・水上安全法救助員養成講習会 <p>②スポーツボランティアの発掘と育成</p> <p>区立体育施設などでボランティア活動を促し、活動が定着するよう育成を図る。</p>				
計画目標	拡充	目標に対する評価	C:計画目標を一部達成した	コロナ影響	無
令和5年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ推進委員広域地区別研修会「第3ブロック」（9月）に20名が参加し、基調講演と分科会を実施した。 ・スポーツ推進委員全体研修会（7月）としてパラバレーボール観戦を実施した。 ・スポーツ推進委員実技研修会（1月）としてパラバレーボール体験会を実施した。 ・日本赤十字水上安全法基礎講習会：実施日数6日、受講者数28人 ・初級パラスポーツ指導員養成講習会：実施日数4日（21時間） 13人 				
評価の理由	令和5年度もスポーツ推進委員全体研修会、初級パラスポーツ指導員養成講習会、水上安全法基礎講習会を実施した。				
課題など	スポーツボランティアについては、指導者養成講習修了者などを対象に制度についての周知を図るとともに、登録者の有効活用を、指定管理者などとも協議して、登録者数を増やす検討をしていく必要がある。				

所属名	文化・交流課
-----	--------

事業No.	事業名				
33	阿武隈リバーサイドマラソン大会への参加				
事業概要	マラソン大会に区民が参加することで、友好都市の角田市を知ってもらい友好交流関係の推進を図るとともに、区民のスポーツ活動の促進及び健康増進を図る。				
計画目標	継続	目標に対する評価	B:計画目標を達成した	コロナ影響	無
令和5年度実績	参加者：22名(男性9名、女性13名) 阿武隈リバーサイドマラソンへの参加に加え、目黒氏の廟所、スペースタワー、コスモハウスの見学や仙南シンケンファクトリーでのイベントに参加するなど、角田市の魅力を存分に味わえる内容となり、友好交流関係の推進を図ることができた。				
評価の理由	マラソン大会参加及び角田市の名所見学を通じて、区民の交流を促進した。				
課題など	バスでの往復が長時間になるため、角田市到着後の市内見学参加率が低くなる傾向がある。新幹線の利用も視野に入れ、身体的負担の少ない行程を模索する。				

所属名

スポーツ振興課

事業No.	事業名				
34	利用者懇談会の実施				
事業概要	利用者等の意見・要望を把握し、区民サービスの向上を図るため実施する。				
計画目標	継続	目標に対する評価	B:計画目標を達成した	コロナ影響	無
令和5年度 実績	駒場体育館 ・年1回実施 区民センター体育館 ・年9回実施 碑文谷体育館 ・教室・講習会 1回実施 中央体育館 ・一般公開 5種目計5回実施 ・教室 14教室計14回実施 八雲体育館 ・年1回実施 砧野球場・砧サッカー場 ・年1回実施				
評価の理由	各施設では、一般公開、教室事業等の利用者を対象に懇談会を実施し、利用者からの意見・要望を取り込むことで利用者数の増加につなげるとともに、今後の課題について整理している。				
課題など	参加人数の分散化やオンラインを活用する等、実施方法を検討し更なる意見収集に努める必要がある。				

所属名	スポーツ振興課
-----	---------

事業No.	事業名				
35	区関係部局と連携した事業の実施				
事業概要	まちづくりや青少年健全育成など、相乗効果を得られるように配慮するため、区関係部局と連携したスポーツ事業を実施する。				
計画目標	継続	目標に対する評価	B:計画目標を達成した	コロナ影響	無
令和5年度実績	<p>①オリンピック・パラリンピック大会記念パネル展の開催 実績なし</p> <p>②指定管理者事業</p> <p><駒場体育館></p> <ul style="list-style-type: none"> ・みんなでダンス（障害者施設えのき園）、ふれあい広場（障害者施設えのき園） <p><区民センター体育館></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「目黒リバーサイドフェスティバル」（産業経済・消費生活課）にて小銭入れ&ミサンガづくり等の実施。 <p><碑文谷体育館></p> <ul style="list-style-type: none"> ・交流機会事業でスポルテ目黒、碑文谷公園くらぶ、目黒区体指・スポ進OB会、目黒区スポーツ推進委員協議会、住区住民会議等地域団体の協力を得て実施。 ・区内情緒障害通級学級と連携を図り障害者対象のスポーツ教室の実施。 <p><中央体育館></p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ広場で住区住民会議と目黒区スポーツ推進委員協議会の協力により実施 <p><八雲体育館></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ほたる祭りや敬老の日イベントで地域で構成する実行委員会、西部包括支援センターの協力を得て実施した。 <p><砧野球場・砧サッカー場></p> <ul style="list-style-type: none"> ・砧ふれあいスポーツ広場・砧ふれあいスポーツ教室を実施。（区内障害者施設主催） 				
評価の理由	<p>①令和5年度については、元々予定されていなかった。</p> <p>②区関係部局と連携を密にしながら、地域の団体等と事業を実施することにより、各体育館が地域の構成員としての役割を果たしている。</p>				
課題など	地域との関係性を深め、より一層地域に根ざした体育館運営を行っていくため、区関係部局のみならず、地域団体との連携も検討していく必要がある。				